



平成 24 年 11 月 27 日 広島市立江波中学校 保健室

インフルエンザの準備をしましょう

かぜとインフルエンザのちがい

症状	かぜ症候群	インフルエンザ
発病	ゆっくり	急激
発熱	軽い、38℃以下が多い	高い、38℃から 40℃
症状など	鼻水、くしゃみなど	全身倦怠感、食欲不振、頭痛 関節痛、筋肉痛、など強烈
鼻炎・咽頭炎	始めに起こる	後から起こる
合併症	少ない	しばしば肺炎など起こす
伝染性	強くない	強い

学校を休まないといけない日が多くなることもあります。インフルエンザにかからないように十分気をつけましょう。

インフルエンザ予防接種について

インフルエンザの予防接種

インフルエンザの予防接種の時期になりました。現在のインフルエンザワクチンはAソ連型、A香港型、B型などに対応するものを組み合わせてつくっているため、通常、どの型が流行しても効果が期待できます。しかし、それぞれの型のうち、毎年同じタイプのウィルスが流行するとは限らないため、毎年厚生労働省が検討してワクチンを決めます。そのため、毎年、接種を受ける必要があるのです。

予防接種の受け方

効果が出るまで免疫の関係で、2週間程度かかります。このため、流行してから予防接種してもインフルエンザにかかってしまう可能性があります。流行が始まる前の12月には予防接種を済ませておくことが理想的です。効果は5ヶ月間持続します。

副反応

副反応については、接種した場所が赤くなったり、腫れや痛みが起こることがあります。また、ワクチンは、ウィルスは無毒化し、必要な成分だけを取り出したものです。ただし、アレルギーがある人は、かならず医師と相談してください。

接種を受けるときは、かかりつけの医師に相談しましょう

美しく色づく紅葉は、日本の秋のシンボルです。夏の間、葉にたっぷり含まれていた葉緑素が、日ざしが弱まるとともに分解され、隠れていた赤や黄色が見えるようになるのだそうです。

青々とした葉の中に、全然ちがう色が隠れているなんて、不思議ですね。みなさんの内側にも、今は見えていない「素質」や「個性」が眠っているのかもしれない。



保護者のみなさまへのお願い



①インフルエンザは学校伝染病です。

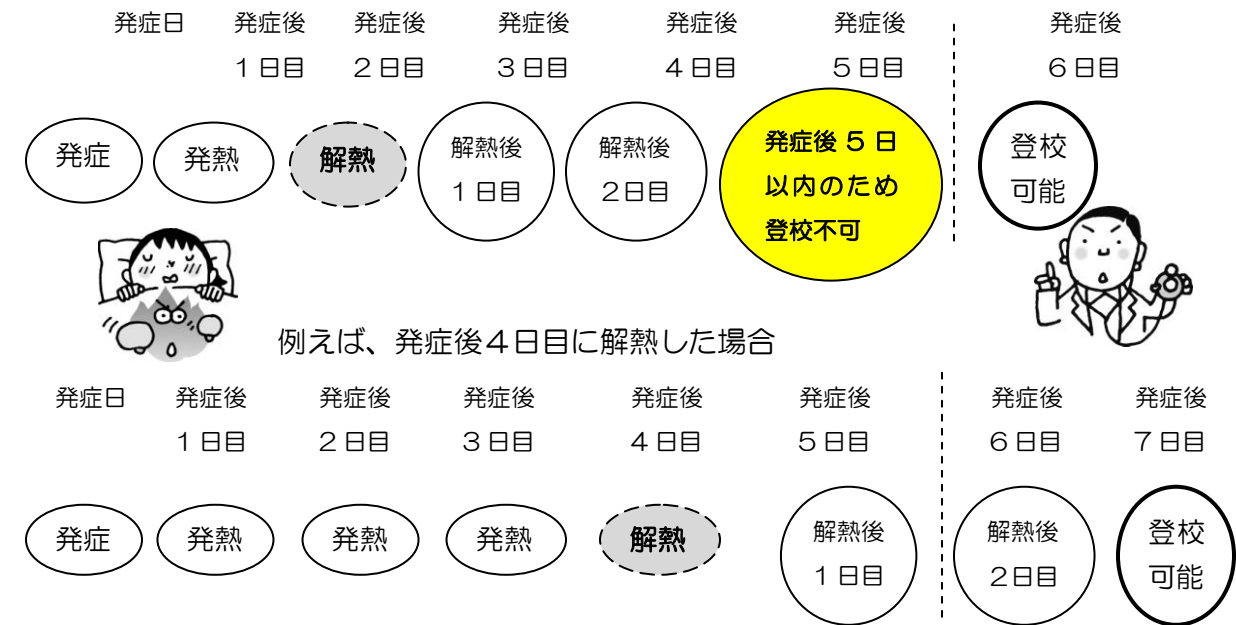
医療機関で診断された場合、欠席しても風疹や水ぼうそうと同じように、欠席扱いになりません。**出席停止**となります。「治癒通知書」を、医療機関で記入してもらい、(用紙は医療機関または学校にあります)担任に提出してください。

診断書をとると、料金が必要となります。ご注意ください。

②登校については、平成 24 年 4 月 1 日から、出席停止の期間が変更になりました。

今までは、「解熱2日が経過するまでは出席停止」でしたが、新しく、「発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日を経過するまで」となりました。つまり、

例えば、発症後2日目に解熱した場合



抗インフルエンザ薬の効果で熱が下がっても、インフルエンザウィルスの感染力はしばらくの間残っています。また、インフルエンザはいったん熱が下がっても、再び発熱する場合があります。出席停止期間に従い、感染力が弱くなるまで登校を控えることで、インフルエンザの流行を防ぐことになります。ご協力をお願いいたします。

知っていますか？ ケータイ・ネットの危険な点

11月22日(火)1時間目に1・2年生は、中央署の方から、ネット・サイトの危険な点についてお話を聞きました。

しっかり学べたことと思います。思い出してくださいね。

どこに注意しますか？



インターネットで知り合った人に、遊びに行こうと誘われました。危ない人ではなさそうなので会ってみようと思います。



まわりの人に相談し、誘いは断ることに。



ネット上では「いい人」だったのに、実際は……。

SNS (ソーシャルネットワーキングサービス)

インターネット上で友人・知人間のほか、共通の趣味や出身などを通して、新たな人と人のつながりをつくるコミュニティ型の会員制サービス、またはウェブサイトのことを言います。

代表的なSNSとして、GREE (グリー)、Mobage (モバゲー)、Mixi (ミクシィ)、Facebook (フェイスブック) などがあります。

基本をチェック

□会うこと=危険なこと

オンラインゲームやSNS*を悪用した犯罪が増えています。



ここがポイント！！



★100%正しいわけ

ではありません

インターネットの情報には、まがいやウソもたくさんあります。

「あのとき、こうだったら…」
「こうしていれば…」と後悔するのではなく、先に「ここで、こうしたら」「こうすれば」と次の場面を考えて行動する習慣を身につけてほしいです。

注意点！！

- ・年齢をごまかしてサイトに登録し、子どもに接近しようとする人がいることがあります。
- ・有害サイトに誘導され、犯罪に巻き込まれる危険があります。
- ・知らない人には絶対に会わない。また、顔写真を含めて画像は送らない。
- ・「なりすまし詐欺」に注意。お金のやりとりなどはしない。
- ・ネット上に出した情報は、すべて公開されるものと思うこと。
- ・個人情報を出さない。誰が見ているかわからない。
- ・目の前に相手がいらないからと言って、気軽に発言しないこと。悪口などに注意。一度発信すると撤回は難しい。

非出会い系サイトで こんな事件がありました

◎男性(56歳)は自分の年齢をごまかして、女子生徒が登録していたインターネットの自己紹介サイトに「8万円会いませんか」「会わないなら写真送って」とメールをしつこくせまり、女子生徒に写真を送らせた後、「写真をバラまれたくなかったら、俺と会え」とメールで脅迫し、しつこく交際をせまり、女子生徒は、危険な目にあいそうになりました。

◎女性の携帯電話にSNSを通して、芸能人マネージャーという人物から「タレントがあなたの趣味欄をみて、気が合いそうだから話したいと言っている。相談にのってほしい」というメールが届き、返信すると「本人とメールするにはここをクリックしてください」と有料サイトに誘導された。アイドルを名乗る人物からリアルな内容でメールが届き、メールをやりとりするうち、総額300万円をだましとられた。